

自転車競技

こんにちは！国際交流員のスティーブン・カーネルです。

日本の多くの人々が日常生活で使う自転車は便利な道具で、通勤や買い物、運動等で使用されますが、生活を楽にするだけでなく、スポーツにも使われています。今日はオリンピックスポーツの一つである自転車競技を紹介したいと思います。



自転車競技はオリンピック第一回アテネ大会から開催されています。アテネでは6種目で始まり、124年後の東京2020大会で11種目（男女それぞれ）になっています。もともと種目数が多かったですが、東京2020大会でも新しい自転車競技の種目が実施予定になっています。昔からあるロードレースやトラックレース等に加え、BMXのフリースタイルとマディソンという種目が追加されました。長距離のロードレース、短距離のタイムトライアル、BMXレースと新設フリースタイル、マウンテンバイク、そして6種目のトラック競技、実に多くの種目です。

まずはロードレースです。東京2020大会のロードレースは男子は244km、女子は147kmの距離のコースで行われます。武蔵野の森公園をスタートし、山中湖を回り、富士スピードウェイを通り、富士山麓で折り返し、東京に戻ります。

続いて、新しく追加された種目であるBMXフリースタイルとは、ランプ¹や手すりのある「パーク」という競技場で行われ、選手は1分間にパークの設備でジャンプや回転等のトリックをし、難しさや独創的さで評価され、順位が評価の得点により決まります。

もう一つ新種目のマディソンとは2人のペアで男性は50km、女子は30kmを走ります。ペアの2人はエネルギーを温存するために、空気抵抗を受ける先頭で走る



¹ 円弧状の斜面でトリックをしたりする構造物

のを代り合います。代わる時に先頭の人が遅くし、後ろの人を手で前まで打ち上げさせます。相手よりラップを最も回ったチームが勝ちます。複数のチームが同じラップ数の場合は、ポイントで決まります。ポイントは競走中に起こる「スプリント」の勝者に与えられます。このスプリントは上位4チームがポイントを受けます。1位に5点、2位に3点、3位に2点、4位に1点が配布されます。

種目が増えたこともあり、多くの選手が競技を行っていますが、その選手の一人は豊橋の桜丘高校出身校であるプロ競輪選手の深谷知広という選手です。深谷選手は競輪ではなく、スプリントというトラック種目での出場を目指しています。深谷選手は現在スプリント世界ランキング最上位の日本人選手です。そのため、オリンピックへの出場可能性が高いです。日本は銅メダルを獲得した1984年のオリンピック以来、スプリントでメダルを獲得していないので、日本としては36年ぶりで自身初のオリンピックメダル獲得を目指している深谷選手を応援しましょう。

スプリントとは傾斜した長円型トラックを周回し競走する自転車競技の種目です。勝利は着順で決まります。駆け引きのポイントは主に空気抵抗を減らすことです。先頭選手が空気抵抗を受けているときに、後ろに追っている選手は力を温存できます。ここぞ！という時に全力で爆発的に走りだし、相手を追いつくのが基本で、そのタイミングはいつかというのが最も重要です。

自転車競技は種目数が豊富ですね。東京2020大会新種目のBMXフリースタイルの追加で、自転車競技が従来の競走だけにとどまらず、より幅広い観客を引き付けるものとなるでしょう。皆さん、自転車競技をぜひ観てみてください。

